

△ かがわ文化芸術祭 2026 参加公演

創立75周年記念
高松交響楽団
第134回定期演奏会

2026「かがわ第九」

ルードヴィヒ・ヴァン・ベートーヴェン 作曲 交響曲第9番 二短調 作品125 “合唱付き”

指揮：小森 康弘

ソプラノ：島田 佳音
アルト：山下 牧子

テノール：寺島 弘城
バリトン：久保 和範

合唱：香川第九合唱団
管弦楽：高松交響楽団

11月15日 日

開演 14:00
(開場 13:00)

レクザムホール 大ホール
[香川県県民ホール]

主催：高松交響楽団 共催：香川第九実行委員会

令和8年度高松市文化芸術活動支援事業申請中 **TKMT**

後援：香川県、高松市、さぬき市、高松市教育委員会、香川日独協会、朝日新聞高松総局、産経新聞社、山陽新聞社、四国新聞社、
毎日新聞高松支局、読売新聞高松総局、RSK 山陽放送、RNC 西日本放送、OHK 岡山放送、KSB 瀬戸内海放送、
TSC テレビせとうち、KBN、CMS ケーブルメディア四国、CVC 中讃テレビ、MCB 三豊ケーブルテレビ、FM 香川、
FM815、高松リビング新聞社、ナイスタウン

チケット (全席自由)

一般	3,000 円
学生 (大学生以下)	1,000 円

プレイガイド (8月25日発売)

香川県県民ホール	Tel087-823-5023
香川県庁生協	087-832-3822
楽器堂OPUS イオンモール高松店	087-832-8016

お問い合わせ

高松交響楽団事務局	Tel090-9550-7441
メール	mail@tso.gr.jp
ホームページ	https://www.tso.gr.jp/

創立75周年記念
高松交響楽団
第134回定期演奏会

2026「かがわ第九」

高松交響楽団と香川第九合唱団が手を取り、香川の地に響かせる 渾身の第九！



指揮 小森 康弘 Yasuhiro Komori

栃木県宇都宮市生まれ。宇都宮大学教育学部音楽科ならびに東京藝術大学音楽学部指揮科首席卒業。同大学院修了。2006～07年、ウィーン国立音楽演劇大学オーケストラ指揮科に留学。その後ドイツのミュンヘンにおいてバイエルン放送交響楽団、ミュンヘン・フィルハーモニー管弦楽団等のオーケストラにおいて研鑽を積んだ。指揮を小林研一郎、松尾葉子、田中良和、クルト・マズア、ハンス＝マルティン・シュナイト、ウロシュ・ラヨヴィチ、エルヴィン・アチェルの各氏に師事。これまでにウィーン・プロ・アルテ・オーケストラ、ニース・オペラ座管弦楽団、日本フィルハーモニー交響楽団、群馬交響楽団、仙台フィルハーモニー管弦楽団、名古屋フィルハーモニー交響楽団、セントラル愛知交響楽団、瀬戸フィルハーモニー交響楽団、九州交響楽団等、国内外の多数のオーケストラを指揮するほか、邦人作曲家の作品・オペラの初演を数多く行う。高松交響楽団への客演は、2025年第132回定期演奏会以来2度めとなる。



ソプラノ 島田 佳音 Kanon Shimada

2000年丸亀市生まれ。香川県立坂出高等学校音楽科を経て、東京藝術大学音楽学部声楽科および同大学別科声楽専修を卒業。現在、同大学大学院音楽研究科修士課程声楽専攻2年に在籍中。第18回声楽生のための歌曲コンクール優秀賞、第9回東京国際声楽コンクール第3位、第72回瀧廉太郎記念全日本高等学校声楽コンクール第2位を受賞。2021年・2025年東京藝術大学Summer Concert、2025年クラシックコレクションコンサート彩～わたしの街のソリスト達～に出演。第26回あやうた音楽祭にはゲストとして出演。2025年度(公財)よんでん文化振興財団奨学生。岩崎明子、前田朋紀、菅英三子各氏に師事。



アルト 山下 牧子 Makiko Yamashita

香川県出身。広島大学を卒業。東京藝術大学大学院修了。第1回東京音楽コンクール声楽部門1位。第72・73回日本音楽コンクール共に3位入賞。平成27年度よんでん芸術文化奨励賞、令和元年香川県文化芸術選奨受賞。2002年に日生劇場オペラ教室「カルメン」タイトルロールでオペラデビュー後、新国立劇場や二期会のオペラ公演に多数出演。宗教曲、交響曲ソリストとしても活躍。二期会会員。沖縄県立芸術大学教授。東京藝術大学非常勤講師。



テノール 寺島 弘城 Hiroki Terajima

香川県高松市出身。東京藝術大学音楽学部声楽科卒業。同大学院音楽研究科修士課程及び博士後期課程修了。博士号(音楽)を取得。大学院在学中に長野羊奈子賞、毛利準賞、三菱地所賞を受賞。令和7年度香川県文化芸術新人賞を受賞。平成30年度よんでん文化振興財団奨学生。第33回香川音楽コンクール第1位。第93回日本音楽コンクール第4位。その他多数のコンクールに上位入賞。現在、香川県と関東圏を中心に演奏活動を行うとともに、香川大学教育学部講師(専任)として後進の指導と研究を行っている。



バリトン 久保 和範 Kazunori Kubo

東京藝術大学卒業。同大学院及び文化庁オペラ研修所修了後、文化庁派遣研修員としてニューヨークで研鑽を積み、第6回奏楽堂日本歌曲コンクール第1位。これまでに、新国立劇場オープニング公演《建・TAKERU》稲置、《沈黙》フェレイラ、《ピーター・グライムズ》スワローをはじめ、二期会《フィガロの結婚》タイトルロール、宮本亜門演出《ドン・ジョヴァンニ》レボレッロ、《蝶々夫人》シャープレスなどに出演し、卓越した歌唱力と表現力で高い評価を得ている。コンサートでも、N響定期でのハイドン《天地創造》をはじめ、主要オーケストラと多数共演。京都市立芸術大学教授、尚美学園大学講師。二期会会員。

香川第九合唱団



1987年、香川県芸術祭が30回を迎えた際、香川芸術フェスティバル'87・高松交響楽団第71回定期演奏会として高松市総合体育館で開催された「5000人の第九演奏会」を機に発足した合唱団。その後35年以上にわたり「かがわ第九」を開催してきた。年一度の公演に際し、都度一般公募を行う。県内の合唱指導者とともに、毎週のように練習を行い、香川の合唱シーンを牽引している。現在では小学生から90代まで幅広い年齢層で構成されている。今年も100名以上の愛好家が一同に会し、「歓喜の歌」を響かせる。

高松交響楽団 Takamatsu Symphony Orchestra

1951年、故 緒方益岡氏が県内の有志を募って創立。同年第1回定期演奏会を開催し高松に初めてオーケストラの灯を燈す。以来、地道に活動を続け、2026年に創立75周年を迎えた。これまで130回を超える定期演奏会をはじめ、「蝶々夫人(全幕公演)」(2008年)「カルミナ・ブラーナ(バレエ付き)」(2009年)「日本を代表するオペラ歌手による祝賀演奏会」(2018年)といった 地元ホールの主管による記念公演への出演、「かがわ第九2022」や「島田バレエ団とのバレエ全幕公演(1990年～・チャイコフスキー3大バレエを中心に7回開催・直近の開催はくるみ割り人形[2025年])」等、地元の他芸術団体との共演、さぬき市(2019年)観音寺市(2023年)等 県内各地での特別公演、香川県主催「かがわジュニア・フィルハーモニックオーケストラ(KJO)」への演奏・運営面での全面協力(2001年～)等、地域に深く根ざした幅広い活動を積み重ねている。文部大臣より地域文化功労者表彰受賞(1987年)、香川県より第1回文化芸術選奨受賞(2008年)、穴吹エンタープライズ(株)(香川県県民ホール指定管理者)よりホール事業への協力に対し感謝状受領(2026年)。団員数は約120名。



お客様へお願い

- ・ 会場周辺駐車場が混雑する場合がございますので、お車でお越しの方は、時間に余裕をもってお越しください。
- ・ 未就学児はチケット不要ですが一般客席への入場はできません。保護者同伴の上、親子室をご覧ください。(なお、親子室は席数に限りがございます。)